

議 長 確認印	
------------	--

議会運営委員会会議録

1、開会の日時 閉 会	平成 30 年 9 月 13 日 14:00 平成 30 年 9 月 13 日 14:21
2、場 所	委員会室
3、出席した委員	割貝寿一、小林達信、鈴木安次、鈴木 茂、吉田克則
4、欠席した委員	なし
5、出席を要求した者	副議長
6、職務のため出席した者	議長、 事務局長、書記
7、付議事件	第 1 定例会の検証について
8、議事の経過	<p>小林達信副委員長が開会 割貝寿一委員長あいさつ 第 1 定例会の検証について 委員長：定例会の検証を行う。5 分程度時間を取るの裏面の項目やアンケート結果を見て何かあれば意見を伺う。 吉田委員：アンケートで「質問に対して準備が甘いと感じた。」とあるので、議会として質問に対する勉強会が必要と思う。 委員長ほか：これは議員に対してではなく町側に対してである。 吉田委員：しかしながら議員として質問の研修は必要と思った。 鈴木(安)：やはり町長の答弁が質問に対して準備があまい。その通りであると思う。事前に通告しているのに、町長としての答弁ができないことは問題である。 吉田委員：アンケートで議員個人に対する意見はどうか。 鈴木(安)：個人によってとらえ方はいろいろあるので議員個人に対しては問題である。町長の行動について質問した件で、町長答弁は議員が手配しなかったから今回は出来なかった、手遅れだという答弁はない。問題である。 委員長：個人議員に対しては、本人が思った通りアンケートに答えているだけなので、議員名を公表しない等するようにすればいいと思う。 吉田委員：アンケートで敬老会の年齢が変更になったことを発表してほしいとは、議会なのか町なのかいずれにしても回答が必要ではないか。 委員長ほか：敬老会の経費や参加人数なのか。 委員長：無記名なので回答は難しい。12 月に一般質問をする予定である。 委員長：町長の答弁はどっちつかずの答弁が多い。質問に対して本当に返答しているかわからないものもある。 鈴木(茂)委員：私の質問に対しては、難しい、難しいの回答ばかりであった。最初から弱気である。 委員長：どっちからも反発が来ないように答弁しているのかもしれない。 鈴木(茂)委員：アンケートの「慎重なのか」の部分であるのか。</p>

吉田委員：通告書に無い質問を答弁するのはおかしい。

委員長：答弁をすでにまとめてあるので読むだけになってしまう。

吉田委員：議会と町がべったりしているように思われるのでまずいと思う。我々議員も勉強会等を開くべきである。

委員長：県や国会はこれが普通であるが。町村の一般質問では合わないかもしれない。

小林委員：町長の考えを言ってもらいたいのに、自分の考えでは答弁しない。

鈴木(安)：資料についてはキチンとしたものを提出してほしい。担当課長が独断でやったのか疑わしい。(予算説明書)

鈴木(茂)委員：正式な資料を出す意見に賛成である。

委員長：総務課長の引継をしっかりとってもらいたい。検証について他にあるか。

吉田委員：今回は町民の議会に対する関心が低くなったのか傍聴者が少なかったように感じた。傍聴者の総人数は何人だったのか。

事務局：正確な人数は示せないが、10人位であった。

議長：今回の一般質問で議員から要望や「よろしくお願いします。」ということがあった。次回からは無いようにしたほうがよい。

委員長：一般質問の通告時間を守るようにしてもらおう。

鈴木(孝)副議長：一般質問の時に拍手をした議員がいるがやめるべき。少しのヤジは仕方がない。

小林委員：議運から拍手はしないよう注意することいい。

委員長：拍手は控えるということを指導する。

委員長：一般質問者が今回も9人で毎回多いのは活発な議会がいいと思う。

委員長：他に検証についてあるか。

(なし)

委員長：以上で議事を終了する。

副委員長閉会

埴町議会委員会条例の第27条の規定により署名する。

平成 年 月 日

議会運営委員長